

苫小牧市多文化共生指針 日本人向けアンケート（案）

【基本事項】

1 性別

1. 男 2. 女 3. 回答しない

2 年齢

1. 10代・20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代以上

3 住所（任意）

苫小牧市（ ）町

4 日本語以外の言語でコミュニケーション（日常会話）ができますか（複数回答）

1. 日本語のみ 2. 英語 3. 中国語 4. その他（ ）語

【意識調査】

1 「多文化共生」という言葉を聞いたことがありますか

1. 聞いたことがあります、意味を理解している  
2. 聞いたことがあります、意味は何となく分かっている  
3. 聞いたことはあったが、意味は分かっていない  
4. 聞いたことがない

2 「やさしい日本語」について、聞いたことがありますか

1. 聞いたことがあります、実践したことがある  
2. 聞いたことはあるが、実践したことはない  
3. 聞いたことはあるが、内容はよく分からない  
4. 聞いたことがない

3 苫小牧市で外国人住民が増えていることを知っていますか

1. 知っていて、実感もしている 2. 実感はないが、聞いたことはある 3. 知らない

4-1 あなたは、外国人と関わるにあたり、壁があると思いますか。

1. ある 2. ない

4-2 【4-1 であるの場合】

どんなことが壁になっていると感じますか。

1. 言葉のちがい 2. 文化・生活習慣のちがい 3. ものの考え方・価値観のちがい  
4. 宗教のちがい 5. 肌の色や服装などのちがい 6. 在留資格などの制度

5 あなたは、地域や職場などに外国人が増えることで、地域社会にどのような影響があると思いますか。

（あてはまるものすべてに○を記入）

1. 社会に多様性が生まれる 2. 外国の言葉や文化に触れる機会が増える  
3. 地域経済が活性化する 4. 人口や労働力が増える

- 5. 治安が悪くなる
- 6. 交通事故が増える
- 7. トラブルが増える
- 8. 日本固有の文化が変容する
- 9. 影響はない
- 10. その他 ( )

6 あなたは、日本に住む外国人に関する次の(1)から(6)の意見について、どう思いますか。

(それぞれの意見について、1つ選んで○を記入)

- 1. そう思う    2. どちらかといえばそう思う    3. どちらかといえばそう思わない    4. そう思わない
- 6-1 日本人は、外国の言語や文化を学び外国人の背景を理解する方がよい    1    2    3    4
- 6-2 日本社会は、外国人に日本の習慣やしきたりを押し付けない方がよい    1    2    3    4
- 6-3 行政は、外国人が日本の言語や文化を学べるよう支援する方がよい    1    2    3    4
- 6-4 外国人は、日本の言語や文化を身につけるために努力した方がよい    1    2    3    4
- 6-5 外国人は、地域の活動に積極的に参加する方がよい    1    2    3    4
- 6-6 外国人は、日本社会になじむよう、日本の習慣やルールを学ぶ方がよい    1    2    3    4

**【交流状況調査】**

1-1 外国人と関わったことがありますか。

- 1. ある    2. ない

1-2 【1-1 であるの場合】

関わったことがあるのはどういう場面ですか。(あてはまるものすべてに○を記入)

- 1. 近所付き合いで    2. 地域の活動で    3. 職場や仕事の関係で    4. 学校の関係で
- 5. 外国人への支援活動などで    6. 親族に外国人がいる    7. 友達付き合いで
- 8. 直接、関わっていないが、見かけることがある
- 9. その他 ( )

2 外国人と関わる際は、どんな言葉を使っていますか。(あてはまるものすべてに○を記入)

- 1. 日本語    2. やさしい日本語    3. 英語    4. 中国語    5. その他 ( )

3-1 あなたの地域や職場などでの外国人とのかかわりで、困ったり、戸惑った経験などがありますか。

- 1. ある    2. ない

3-2 【3-1 であるの場合】

それはどのようなことでしたか。差し支えない範囲でお書きください。

( )

4 あなたは、今後、地域の外国人とどのような交流をしたいと思いますか。

(あてはまるものを3つ選んで○を記入)

- 1. 外国人から出身国(地域)の文化や習慣を学びたい    2. 外国人に日本の文化や習慣を紹介したい
- 3. 言葉を学んだり、子どもに学ばせたりしたい    4. 一緒に地域のイベントや祭りに参加したい
- 5. 一緒にボランティア活動をしたい    6. 友だち付き合いをしたい
- 7. 家庭のことや子育てについて相談や情報交換をしたい    8. 交流したいとは思わない
- 9. その他 ( )

5 本市は、今後「多文化共生指針」を策定し、様々な取組み(施策・事業)を進める中で、どのような取組み

に力をいれたらよいと思いますか。(あてはまるものをすべて選んで○を記入)

1. 様々な情報を多言語で発信する
2. 外国人が気軽に出入りしやすい拠点を整備する(通訳・相談窓口・日本語教室・情報拠点・サロンなど)
3. 外国人が地域活動に参加しやすい環境を整える
4. 外国人が働く場を増やしたり、働きやすくしたりする
5. 外国人観光客を増やす
6. 日本人と外国人の双方が参画しやすい交流の場を設ける
7. 様々な国の人や文化、習慣の違いについて、日本人の理解を深める
8. 特に力を入れるべき取組みはない
9. その他 ( )

6 外国人市民と相互理解を深めるため、どのような機会があれば良いと思いますか。

(あてはまるもの2つに○を記入)

1. 異文化を体験する機会(伝統芸能や料理講座等)
2. 外国語を学習する機会
3. 地域での交流や活動の機会(地区の活動等)
4. スポーツを通じた活動の機会
5. その他 ( )

7 あなたは本市の「国際化推進事業」のどんな活動をご存じですか。

(あてはまるものをすべて選んで○を記入)

1. 多文化共生の啓発の講演会の開催
2. 英語・中国語講座の開催
3. ボランティア人材の育成と活動
4. 外国人への日本語教室の開催
5. 多文化共生を推進する事業(やさしい日本語の普及・避難所体験・子ども向けワークショップ)
6. 外国人のための相談窓口

8 その他、ご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

--